

私の屋久島

季刊「生命の島」
編集 発行人 日吉眞人さん



子な、もははきはきしたところの、
の土地、す。風向は、南か
に水、は。土、向、西か
話、の、墓、地、は、東か
5、世、島、呼、ぶ、す。島
人、話、の、墓、地、は、東か
の、世、島、呼、ぶ、す。島
、お、も、移、り、す。島
年、の、湯、を、と、り、す。島
6、高、産、郷、を、と、り、す。島
2、久、高、産、郷、を、と、り、す。島
歴、久、高、産、郷、を、と、り、す。島
屋、久、高、産、郷、を、と、り、す。島
島、久、高、産、郷、を、と、り、す。島
全、久、高、産、郷、を、と、り、す。島
員、久、高、産、郷、を、と、り、す。島
2、久、高、産、郷、を、と、り、す。島
、久、高、産、郷、を、と、り、す。島
供、久、高、産、郷、を、と、り、す。島

は、き、な、は、き、な、は、き、な、は、き、な、
は、き、な、は、き、な、は、き、な、は、き、な、
は、き、な、は、き、な、は、き、な、は、き、な、
は、き、な、は、き、な、は、き、な、は、き、な、

地拵は、二月二十五日にボ
ランテアグループ「ヤツタ
ネ！調査隊」の協力を得て行
いました。植え付け予定地
は、広葉樹やスギの丸太や枝
条がたくさんあり、仕事を始
める前は、「こりゃー大変だ」
と一同心配の声が有りまし
が、慣れない仕事にも係わら
ず若さと気合いでまたたくま
に予定面積を確保し作業を終
えました。

三月四日はあいにくの寒波
襲来で寒い日となりました
が、一湊と安房小学校の児童

◆植え付け準備から
ポランテアの協力を得て植栽◆

林木育種センター九州育種場で育てた実生を、
白谷雲水峡アクセス路途中の山林に、小学生を
含め約四十名で植樹しました。



十名とポランテア、上屋久
町の職員、森林管理署職員等
約四十名で、植樹を行いました
。子供たちはヤク
タネゴヨウを
見るのも初
めてでした
が、「大き
く育て」と
願いをこめ
て、寒さを吹き飛ばし一生懸
て、植え付けました。

作業後は、保全センターで
「森林からのおくりもの」の

紙芝居や森林教室で、森林の
ことを勉強した後、持参のお
にぎりや準備した暖かい豚汁
で昼食をとり解散しました。

「屋久島の森林へのいざない」

二月五日、七日にかけて、
中央アフリカ外八ヶ国九名の
研修生一行が、屋久島国有林

JICA集团研修 「屋久島」

また、来年も百八十七本を
植え付ける予定で、その後は
縄文杉など著名スギの孫も植
えつけ展示林として造成する
ことを予定しています。

「屋久島の森林へのいざない」
ができました

保全センターでは、子供達
に屋久島の森林のことをもつ
と良く知ってもらおうと、森
林環境教育のテキストとして
『屋久島の森林へのいざない』
(A四判、二十二ページ)を作
りました。

このテキストは、○森林の
仕組みや働き○森林と人の
つながり○屋久島の動植物に
ついて、写真や絵を交えなが
ら分かりやすく解説していま

屋久島の植物



アクシバモドキ
つつじ科

樹上に着生する落葉低木で
屋久島の固有種。標高五〇〇
m以上。
枝・葉共に緑色をしてい
て、枝には稜がある。花は、
紅色を帯びた白色で、花期は
二～五月。果実は六皿程の球
形で九～十月黒紫色に熟す
る。

を視察しました。

この研修は、現在、開発途
上国では森林の伐採、農地へ
の転用等で、森林面積が減少
するとともに生物多様性の劣
化が懸念され、その保全が急
務の課題となっているため、
屋久島等の森林生態系保護地
域の管理の状況を視察し、周
辺林分における生物多様性
に配慮した森林施業の習得を
目的としたものです。

すので、これを読んだ子供達
が、少しでも森林への興味を
抱き関心を示してくれるきつ
かけとなることを期待してい
ます。

なお、こ
のテキスト
は屋久島の
全小学校に
は配布しま
すが、希望
される方に
も無料で差
し上げます



ので、保全センターまで直接
おこし下さい。

縄文杉樹勢回復措
置工事の實施につ
いて
昨年から実施してい
る樹勢及び植生回復措
置工事を、引き続き三
月に実施します。

意見交換会で出された意見
をふまえて、チャコールチツ
ブ炭や木酢液を使用した土壌
改良工百十九・一mと粗朶や
ヤシマットを使用した編柵工
百六十三mを実施する予定で
す。
工事期間中には、皆様のご
協力をお願いします。

小学生の皆さんとそこご父兄の方へ

新緑の

自然観察会

へ参加してみませんか!!

屋久島森林管理署では、小杉谷の周辺に、小杉谷休憩舎（東屋）を建てたり、自然観察路を設置したり、楠川歩道を石積工法で補修するなどして、森林環境教育のための施設を整備してきました。

この度、これらの施設が完成しましたので、その施設を巡りながら、森林とふれ合うことで、森林の仕組みや働きを学び、自然への理解や体験を深めていただこうと、森林インストラクター等の案内による自然観察会を行なうことになりました。

今回の新緑萌える中での自然観察会は、豊かな感性を育み、素晴らしい感動を、きっと皆さんに与えてくれると思います。この自然観察会への参加者を募集しますので、参加を希望される方のご応募をお待ちしています。

なお、当日は、簡単なゲームを楽しみながら自然との一体感が得られるネイチャーゲームも行います。五感を使って、屋久島の自然に触れあい、自然と親しんでみませんか。

◆ 募集事項

募集対象
募集人数
応募方法

屋久島在住の小学生とその父兄（4年生以下は父兄同伴）

先着30名程度

〒891-4205 上屋久町宮之浦1577-1

参加を希望する家族全員の住所、氏名、年齢、電話番号を記入の上、はがき又はFAXで下記（屋久島森林環境保全センター）まで応募して下さい。締め切りは4月6日（金）

◆ 実施事項

実施日
実施場所

平成13年4月22日（日）

小杉谷周辺

（経路）白谷雲水峡～太鼓岩～楠川三叉路～自然観察路～小杉谷

～荒川登山口

集合解散場

当日は、バスで現地まで送迎しますので、次の最寄の場所で集合解散とします。

①屋久町体育館前（出発） 8:30

（解散） 17:00

②上屋久町役場前（出発） 9:00

（解散） 17:30

参加費
服装等

災害保険料として一人500円程度

長袖シャツ、長ズボン、合羽、登山靴等動きやすい服装でおいで下さい。また、弁当、水筒、筆記用具等も持参して下さい。

その他

荒天等のため中止するときは、事前に電話で連絡します。

◆ 問い合わせ

屋久島森林環境保全センター（担当：山部，大森） TEL 09974-2-0331

FAX 09974-2-0333